

船舶事故等調査報告書

平成21年10月29日
運輸安全委員会（海事専門部会）議決

事故等番号	2009神第178号	
事故等種類	運航阻害	
発生日時	平成21年5月9日 20時00分ごろ	
発生場所	兵庫県明石沖	
事故等調査の経過	平成21年6月24日、本インシデントの調査を担当する主管調査官（神戸事務所）を指名した。 原因関係者から意見聴取を行った。	
事実情報	<p>船種船名、総トン数 貨物船 ^{うるめ}麗女丸、199トン</p> <p>船舶番号、船舶所有者等 133044、株式会社コマツマリン</p>	
乗組員等に関する情報	船長、四級海技士（航海）	
死傷者等	なし	
損傷	主機6番シリンダのシリンダライナ肩部にき裂	
事故等の経過	<p>本船は、航行中、平成21年5月9日20時00分ごろ、主機冷却水圧力が0.7～1.2kg/cm²の範囲で脈動するようになり、主機回転数を約40rpm下げて航行した。</p> <p>また、入港して主機停止中、冷却水が燃焼室に漏れ、潤滑油に冷却水が混入した。</p> <p>本船は、シリンダライナ1本及び潤滑油1,800ℓを新替した。</p>	
分析	乗組員等の関与 船体・機関等の関与 気象・海象の関与 判明した事項の解析	<p>なし</p> <p>あり</p> <p>なし</p> <p>主機6番シリンダ（最船尾シリンダ）のシリンダライナ肩部に円周方向長さ約3mmのき裂が発生し、航海中は燃焼ガスが冷却水側に、停泊中は冷却水が燃焼室に、それぞれ漏洩したものと考えられる。</p>
原因	本インシデントは、本船が明石沖を航行中、主機6番シリンダのシリンダライナ肩部に、経年劣化によりき裂が生じたため、燃焼ガスが冷却水側に漏洩するようになって主機の冷却水圧力が脈動し、通常運転不能となったことにより発生したものと考えられる。	